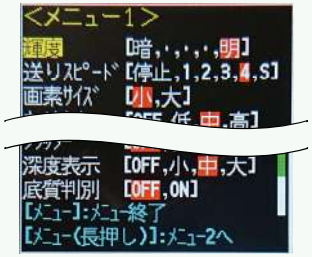
3.周波数を切り替えて混信を軽減しよう

ドーム船など釣り人同士が比較的近い場合に“混信”が発生することがあります。
周波数を切り替えることで混信を軽減することができます。

◎周波数の切り替え方法



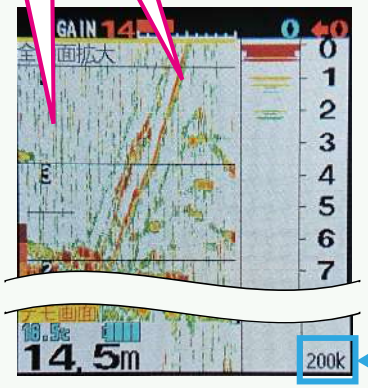
まず メニュー を押します。
<メニュー1>が表示されるので、
再度 メニュー を長押しします。

<メニュー2>が表示されます。
[周波数]で
【150kHz／200kHz／250kHz／300kHz】から
周波数を選択し メニュー を２回押すと
設定完了です。（メニュー画面が閉じます）

＊上記4つの周波数を使用するには振動子TD08を接続し、かつ ワカサギモードを【ON】にしてください。
（ワカサギモードの設定方法は表面をご覧ください）
また、TD08以外の振動子を使用する場合はその振動子に合った周波数に設定してください。
誤った設定で使用すると本体や振動子の故障の原因になります。

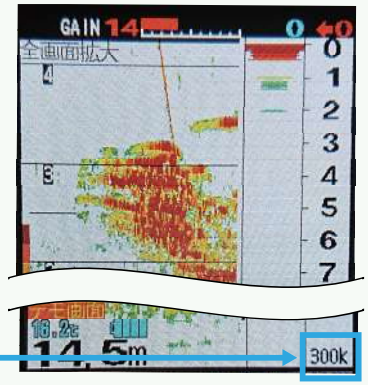
混信の反応

混信が発生すると左の画像ように魚探に雨が降ったような反応が出ます。
混信するとワカサギやおもりの反応との判別がしづらくなります。



周波数切り替え前(混信)

周波数表示



周波数切り替え後(混信の軽減)

周波数の切り替えは上記メニュー操作の他、ファンクション②キーを押すたびに
“150kHz→200kHz→250kHz→300kHz→150kHz”と切り替えることができます。

ポイント

混信はお互いの魚探の周波数が近いことで発生するため、200kHz以外の設定でも混信する場合があります。フィールドの状況に応じて周波数を切り替えて使用しましょう。

HE-68WB用

HONDEX®

ワカサギ釣り おすすめセッティング

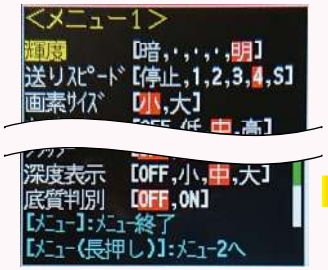
200903①

～『ワカサギモード』でかんたんに湖の底を探って釣果アップ！～

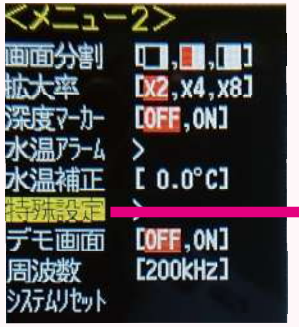
ワカサギモードを使えば湖の底とワカサギの群れやおもりの反応との位置関係がより分かりやすくなります。
またドーム船など釣り人同士が近い状態で魚探を使うと発生する『混信』を軽減できる機能も備わっています。
本紙ではワカサギモードの設定方法とおすすめの使い方を紹介しますので、
魚探を最適なセッティングにし釣果につなげましょう！

1.ワカサギモードをONにしよう

◎ワカサギモードの設定方法



まず メニュー を押します。
<メニュー1>が表示されるので、
再度 メニュー を長押しします。



<メニュー2>が表示されます。
[特殊設定]で ▶ を押します。

[ワカサギモード]で【ON】を選択し、
メニュー を３回押すと設定完了です。
（メニュー画面が閉じます）

◎ワカサギモードONでできること

- ワカサギ釣りに適した「拡大機能」「拡大幅」「逆スケール」が使用できるようになります。
- 「オートゲイン(感度)・オートレンジ(深度)」が“手動”に切り替わります。
  ＊ワカサギモードを“OFF”にすると、上記で設定したメニューが“ON”にする以前の設定を保持します。
- 「周波数」を“150kHz／200kHz／250kHz／300kHz”から選択できます。
  ＊TD08接続時のみ上記の周波数で使用できます。TD08以外の振動子を使用する場合はその振動子に合った周波数に設定してください。誤った設定で使用すると本体や振動子の故障の原因になります。
- ファンクション①キーで「拡大幅」の切り替え、
  ファンクション②キーで「周波数」の切り替えができるようになります。

◆以下の場合は、ワカサギモードを“OFF”にしてお使いください。
- 湖の底の起伏が一定でない場合(ボートで移動中など)
- 水深が40m以上の場合(深度レンジは0～40mです)
- 拡大機能で「自動拡大」と「海底固定拡大」を使いたい場合

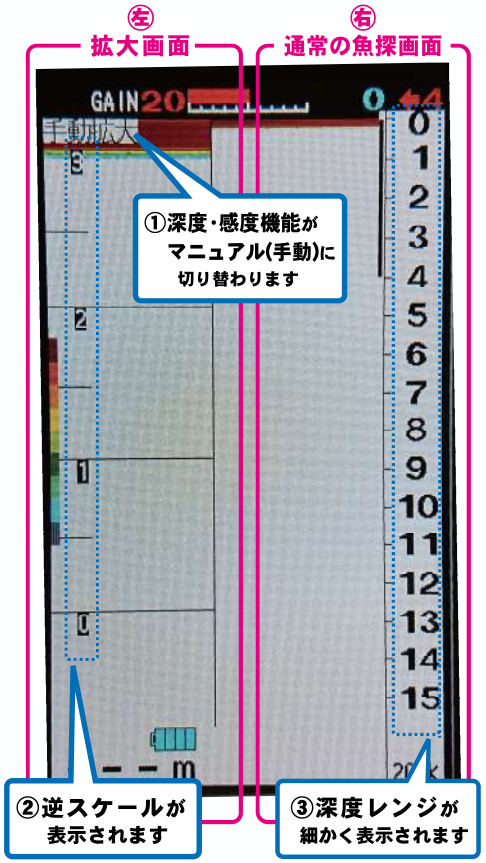
中面の【2.フィールドでセッティングしよう】に続きます。

2.フィールドでセッティングしよう

振動子を水中に落としてフィールドに 合わせたセッティングをしましょう。

ワカサギモード“ON”時の画面構成

＊通常の魚探画面(画面㊨)の一部を拡大した映像が拡大画面(画面㊧)に表示されます。



①魚探のオートゲイン(感度)・オートレンジ(深度)が“手動”に切り替わります。感度・深度の調整を手動で行うことでより細かな設定ができます。
詳細はステップ1・ステップ3をご覧ください。

＊オート(自動)で使いたい方は感度・深度を“自動”に切り替えてお使いください。

②拡大画面上に逆スケールが表示されます。
湖の底を0mとしたスケールを表示します。
詳細はステップ2をご覧ください。

③通常の魚探画面上に深度レンジが細かいスケールで表示され、反応のあるタナを見分けやすくなります。

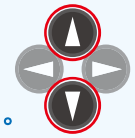
ステップ1

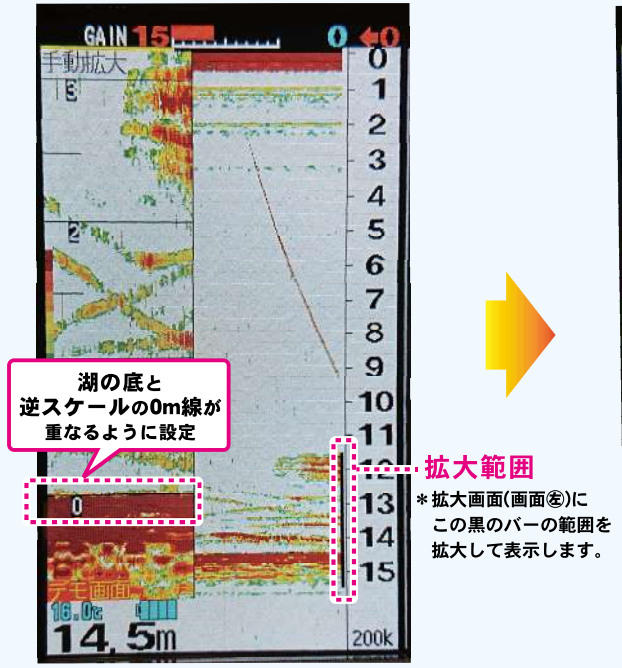
深度を設定する。

浅 深 キーを押して通常の魚探画面(画面㊨)で湖の底が画面のなるべく下にくるように設定しましょう。

ステップ2

拡大範囲を設定する。





▲ ▼ キーを押して拡大範囲を設定します。
拡大画面(画面㊧)を見ながら拡大範囲を調整し、湖の底と逆スケールの0m線が重なるように設定しましょう。

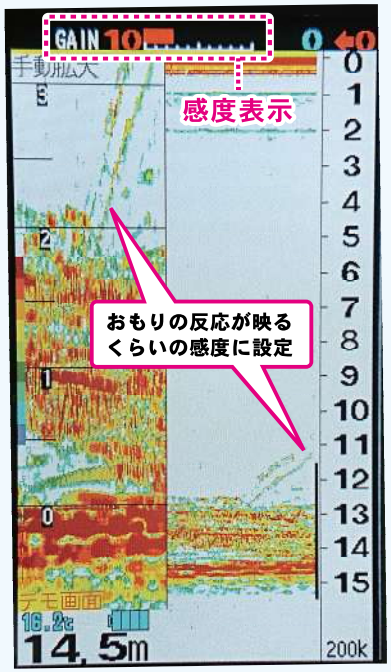
ポイント

拡大幅は［2m,3m,4m］より選択します。
拡大幅はメニュー内 もしくは ファンクション①キーでも切り替えできます。

使用する仕掛けの長さや狙うタナに合わせて拡大幅を選びましょう。

ステップ3

感度を設定する。



高 低 キーを押して感度を設定します。
感度が低すぎるとおもりや魚の反応をとらえにくくなり、逆に高すぎると不要な反応まで映って判別しづらくなります。

目的の深さ(ワカサギのタナ付近)でおもりの反応が映るくらいの感度に設定しましょう。

ポイント

水深や水のにごりによっても最適な感度は変わるので、こまめに調整しましょう。

これでセッティング完了です。
反応を見定め、釣果アップを目指しましょう！

→裏面では【3.周波数を切り替えて混信を軽減しよう】を紹介します